

公益社団法人日本包装技術協会
事業の一覧

事業区分		事業の内容
公益目的事業	公1	<p><講座、セミナー、育成事業> 包装に関する知識の習得と技術の向上を図ることを目的とする事業 (管理士講座、専士講座※、セミナー、コース、研究会、フォーラム、研究大会、懇話会) *支部で行っている事業はすべてここに属し、公1として扱う</p>
		<p><体験活動等事業> 包装に関する体験活動を通して知識の習得と普及を図ることを目的とする事業 (海外視察団、見学会)</p>
		<p><表彰、コンクール事業> 包装に関連した技術やデザインの啓発を目的として行われる事業で、入賞作品はすべて展示会において一般公開される (パッケージングコンテスト、木下賞)</p>
	公2	<p><展示会、ショー事業> 包装の最新情報を内外の関連分野に対して啓発、普及を行うことを目的とする事業 (東京国際包装展、暮らしの包装商品展)</p>
	公3	<p><調査、資料収集事業> 委託による調査及び資料収集が中心となっており、結果は報告書や規格となって一般に公表される (ISOに関する活動、JISに関する活動、統計)</p>
収益事業	収1	<p><出版事業> 毎月刊行されている当会の機関誌の出版に関する事業。雑誌は会員には無料、一般には有料で配布されている。その他、非定期的に包装に関する単行本等を刊行</p>

*その他の催事：新年会 総会

※包装アカデミーを包装専士講座に改称

2019 年度事業報告

本 部

2019 年 4 月 1 日～2020 年 3 月 31 日

当会本部の事業は、概ね年度活動方針及び事業計画に沿って実施された。協会事業の柱となっている包装人材育成事業（包装管理士講座、包装専士講座、等）は当初計画通りの成果をあげることができたが、2020 年 2 月下旬以降の情報提供事業は新型コロナウイルスの感染拡大による影響を受け、招集開催を自粛した。包装管理士講座は今期（第 5 4 期）、478 名の受講者を得て開催され、再受講合格者を含め 474 名が合格し、包装管理士の称号を授与された。第 1 回開催以来 54 年間で、包装管理士有資格者は 14,463 名となった。また今年度より包装アカデミーは包装専士講座へ名称変更し、従来通り輸送包装、食品包装、医薬品包装及び包装材料の 4 コースを本年度 6 月より開講、2020 年 3 月までのスケジュールで、受講者 56 名にて実施し、再受講合格者を含め 55 名が合格し、包装専士の称号を授与された。

隔年開催の暮らしの包装商品展は 10 月 10 日・11 日の 2 日間、東京駅丸の内 K I T T E を会場に 9,500 名を超える来場者で賑わった。

偶数年開催の東京国際包装展は、2020 年東京オリンピック・パラリンピックの開催により東京ビッグサイトが使用できないため、今回は名称を東京パック 2021 として従来より 4 ヶ月遅れの 2021 年 2 月 24 日から 26 日での 3 日間開催を予定しており、9 月 24 日より出展受付を開始している。

第 1. 事 業

1. 研修・育成事業、交流事業、普及啓発事業（公益目的事業 1）

<研修・育成事業>

1) 第 5 4 期包装管理士講座

期間：6 月 4 日(火) 開講 ～ 9 月 11 日(水) 終講

会場：合宿研修 ロワジュールホテル豊橋

会場別座学 東京会場 AP 新橋

大阪会場 ハートンホテル北梅田、大阪府立産業技術研究所

名古屋会場 愛知県産業労働センター、愛知県技術開発交流センター

福岡会場 電気ビル本館

仙台会場 仙台商工会議所会館

合格者：474 名（*再受講合格者 8 名を含む）（今期受講者 478 名 今期合格者 466 名）

合格者内訳：東 京会場 237 名 大 阪会場 104 名

名古屋会場 79 名 福 岡会場 35 名

仙 台会場 19 名

〈 輸送包装コース 207 名・生活者包装コース 267 名 〉

以上の結果、54 期を通して包装管理士有資格者は、14,463 名となった。

2) 2019 年度包装専士講座（包装アカデミー）

当初、3 月 3 日（火）～3 月 6 日（金）に最終課題の包装専士論文審査を実施する予定であ

ったが、新型コロナウイルス感染予防措置の実施により、論文・論文概要及び論文発表資料の書面審査を行った。課題テスト結果とあわせて審査委員会にて可否の判定を行った。

期間：6月10日(月)開講～3月6日(金)終講

会場：開講式・オリエンテーション 湘南国際村センター（合宿研修：逗子）
 専門教科 (公社)日本包装技術協会、各実地研修会場

合格者数（受講者数）	合格	（受講）
(1) 第33期輸送包装コース	7名	(7名)
(2) 第34期食品包装コース	19名	(19名)
(3) 第33期包装材料コース	12名	(13名)
(4) 第32期医薬品包装コース	17名	(17名)
計	55名	(56名)

3) 第57回全日本包装技術研究大会 仙台大会

11月21日(木)～22日(金) 2日間 仙台国際センター

輸送包装、生活者包装、食品包装、化粧品包装、包装資材、環境包装、パッケージデザインの7部会にて59件の発表を行った。

参加者 325名

<特別講演>

テーマ：「サッポロビールと宮城県」

講師：サッポロホールディングス(株) 取締役会長 上條 努 氏

4) 研究会、講習会、セミナー、シンポジウム等の研修活動

(1) 機能別包装研究会

*年間25本の開催予定にて進めていたが、2月・3月の開催分については、既に参加者募集中であったが、新型コロナウイルス感染予防措置により開催中止を決定。

①包装資材研究会

第227回 7月18日(木) JPI会議室 参加者 85名

テーマ：『異物検査の現場から～分析手法と事例の紹介～』

講師：(一財)日本食品分析センター 試験研究部応用試験課主任

山田 瑠美子 氏

第228回 11月28日(木) JPI会議室 参加者 146名

テーマ：『パルプ素材によるプラスチック削減の取り組み

～紙製バリア素材「シルビオバリア」について』

講師：王子エフテックス(株) 営業本部製品開発部 部長

門田 優 氏

第229回 1月23日(木) JPI会議室 参加者 121名

テーマ：『「紙でできることは紙で。」～紙のもたらす新たな機能と価値』

講師：日本製紙(株) パッケージング・コミュニケーションセンター/技術調査役

野田 貴治 氏

第230回 2月20日(木) JPI会議室 中止

テーマ：『海洋プラスチック問題と資源環境—包装技術への期待』

講師：日本プラスチック工業連盟 専務理事

岸村 小太郎 氏

- 第231回 3月11日(水) JPI 会議室 中止
 テーマ：『変異原性試験について (PL 法改正の理解を深めるため)』
 講師：国立医薬品食品衛生研究所・変異遺伝部 部長 本間 正充 氏
- ②輸送包装研究会
- 第225回 4月25日(木) JPI 会議室 参加者 99 名
 テーマ：『サプライチェーン全体を考えた高効率且つ安全な包装』
 講師：(株)デンソーエアークル 開発部技術支援室・担当部員 原口 裕司 氏
- 第226回 8月22日(木) JPI 会議室 参加者 71 名
 テーマ：『“ナビエースが実現” 大型重量物包装の改善事例紹介』
 講師：中津川包装工業(株) 営業本部 販売推進部 部長 大山 孝一 氏
- 第227回 12月12日(木) JPI 会議室 参加者 70 名
 テーマ：『先進物流技術の動向と日本の物流が乗り越えるべき課題
 ～グローバルな視点から～』
 講師：(株)日通総合研究所 リサーチフェロー 田阪 幹雄 氏
- 第228回 12月12日(木) JPI 会議室 参加者 64 名
 テーマ：『北極海航路での在来船によるコンテナ輸送について』
 講師：コスコ SHIPPING ジャパン・トウホウ 高 宏明 氏
- 第229回 3月19日(木) JPI 会議室 中止
 テーマ：『振動と衝撃の基礎』(仮)
 講師：東京都立産業技術センター
- ③包装ラインシステム化研究会
- 第225回 4月25日(木) JPI 会議室 参加者 107 名
 テーマ：『ロングライフ包装ラインの創出』
 講師：CKD(株) 販売促進部 商品拡販 G 佐野 喜紹 氏
- 第226回 6月27日(木) JPI 会議室 参加者 84 名
 テーマ：『人と一緒に働くヒト型ロボット NEXTAGE』
 講師：カワダロボティクス(株) 管理部広報室 広報室長 藤井 洋之 氏
- 第227回 7月18日(木) JPI 会議室 参加者 82 名
 テーマ：『包装機への組み込みを可能にした軟 X 線センサ』
 講師：サイエナジー(株) 代表取締役 元田 良一 氏
- 第228回 9月19日(木) JPI 会議室 参加者 80 名
 テーマ：『リモートメンテナンス普及への道と目指すべき方向』
 講師：ディーアイエスソリューション(株) システム開発部 係長 田中 宏 氏
- 第229回 11月28日(木) JPI 会議室 参加者 104 名
 テーマ：『前半：食品容器の変遷とプラスチック容器の進化と環境問題について
 後半：容器製造と供給の自動化実例について』
 講師：東罐興業(株) 技術開発本部 研究開発部 部長 中條 修 氏
 東罐興業(株) 技術開発本部 設計工作部 部長 馬込 礼貴 氏

④生活者包装研究会

- 第227回 5月29日(水) JPI 会議室 参加者 145名
 テーマ:『FSC 認証の概要と現状について』
 講師: FSC ジャパン マーケティング&広報担当 河野 絵美佳 氏
- 第228回 6月27日(木) JPI 会議室 参加者 163名
 テーマ:『(2030年包装の未来予測シリーズより)循環型社会の視点からみた包装の未来』
 講師: 大和製罐(株) 技術開発センター 軟包装容器開発室 橋本 香奈 氏
- 第229回 8月22日(木) JPI 会議室 参加者 68名
 テーマ:『日本災害食認証について』
 講師: 一般社団法人日本災害食学会 理事
 国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構 食農ビジネス推進センター
 ビジネスコーディネーター 雨宮 純子 氏
- 第230回 10月29日(火) JPI 会議室 参加者 109名
 テーマ:『パッケージデザイン開発はAIによってどう変わるか?』
 クリエイティブを評価するAIが開発プロセスを変える』
 講師: (株)プラグ 代表取締役社長 小川 亮 氏
- 第231回 10月29日(火) JPI 会議室 参加者 109名
 テーマ:『コンビニ弁当容器の30年』
 講師: 三菱商事パッケージング(株) 流通事業部長付 包装専士 佐藤 久朗 氏

⑤包装情報研究会

- 第105回 5月29日(水) JPI 会議室 参加者 134名
 テーマ:『多様な色の見え方とカラーユニバーサルデザイン』
 講師: NPO 法人カラーユニバーサルデザイン機構 CUD コンサルタント 伊賀 星史 氏
- 第106回 6月27日(木) JPI 会議室 参加者 115名
 テーマ:『体験価値のためのデータドリブンマーケティング』
 講師: 大日本印刷(株) 情報イノベーション事業部 C&I センター
 デジタルマーケティング本部 本部長 天本 直也 氏
- 第107回 1月23日(木) JPI 会議室 参加者 76名
 テーマ:『2020年に向けた食文化発信の取組について』
 ~持続可能性に配慮した食材調達の動き~』
 講師: 内閣官房 東京オリンピック・パラリンピック競技大会事務局参事官補佐
 高野 新 氏
- 第108回 2月20日(木) JPI 会議室 中止
 テーマ:『海洋プラスチックごみ問題について (CLOMA の取組を中心に)』
 講師: 経済産業省 製造産業局 素材産業課 係長 山田 真道 氏
- 第109回 3月19日(木) JPI 会議室 中止
 テーマ:『水性グラビア印刷を基軸とした包材の環境対応について』
 講師: 富士特殊紙業 様

(2) 県別包装研究会

①静岡県包装研究会 11月1日(金) アクトシティ浜松研修センター401会議室

参加者 32名

テーマ①:『日本の製造業を支える外国人材

—外国人材受入れ拡大に向けた政策の現状、動向、留意点—』

講師:東海大学 教養学部 人間環境学科社会環境課程 万城目 正雄 氏

テーマ②:『運送・物流現場の梱包・包装改善の具体策

～積載効率だけではダメ!梱包効率と品質UP改善事例に学ぶ～』

講師:ロジクエスト(株) 代表取締役 清水 一成 氏

②新潟県包装研究会 12月6日(金) 朱鷺メッセ 302会議室

参加者 77名

テーマ①:『ロングライフ包装ラインの創出』

講師:CKD(株) 市場開発部 東日本エリアグループ 米澤 裕基 氏

東洋製罐グループホールディングス(株) 総合研究所第一研究室 駒形 大樹 氏

テーマ②:『食品産業におけるプラスチック資源循環に向けた取組』

講師:農林水産省 食料産業局 バイオマス循環資源課

食品産業環境対策室長 野島 昌浩 氏

(3) 包装情報ステーション

①第64回 7月24日(水) JPI 会議室

参加者 115名

テーマ:『器具・容器包装の制度改正について(食品衛生法改正)』

講師:厚生労働省 医薬・生活衛生局 食品基準審査課 課長補佐 大田 光恵 氏

②第65回 7月25日(木) JPI 会議室

参加者 159名

テーマ①:『食品産業におけるプラスチック資源循環に向けた取組』

講師:農林水産省 食料産業局 バイオマス循環資源課 食品産業環境対策室長 野島 昌浩 氏

テーマ②:『JIS Z 1707 食品包装用プラスチックフィルム通則改正

及び実際の食品包装用プラスチックフィルムの品質保証について』

講師:凸版印刷(株) 経営企画本部 部長 坂巻 千尋 氏

(4) コース

①第25回包装新人研修コース

4月11日(木)・12日(金) セミナーハウス『クロスウェーブ』

参加者 30名

②第52回包装基礎コース

5月15日(水)～17日(金)・22日(水)～23日(木) JPI 会議室

参加者 72名

③第36回フレキシブルパッケージコース

11月8日(金) JPI 会議室

参加者 56名

下山田包装技術事務所 所長

下山田 正博 氏

④第10回食品包装コース(延べ5日間)

11月25日(月)・12月10日(火)・1月28日(火)・2月18日(火) JPI 会議室

3月17日(火)のみ開催延期

参加者 19名

- 講師：水口技術士事務所 所長 水口 眞一 氏
- ⑤第15回緩衝包装設計コース 参加者 29名
1月21日(火) JPI 会議室
講師：(株)石野製作所 専務理事 高橋 二郎 氏
- ⑥第45回段ボール包装設計コース 参加者 39名
2月13日(木)～14日(金) JPI 会議室
講師：レンゴー(株) 包装技術部 東京包装技術第1課担当部長代理 大谷 昌義 氏
王子コンテナ(株) 営業本部 CS推進部 包装技術 主幹 小林 昌弘 氏
- (5) 2019 日本パッケージングフォーラム
8月29日(木) 東京ガーデンパレス 平安の間 参加者 65名
テーマ①：「“お手軽輸送、楽々梱包できる” ドローン運搬箱」
講師：(株)デンソーロジテム 物流サービス本部
包装管理室 包装企画課 谷口 将之 氏
テーマ②：「『グリナ®』『アミノエール®』スティック6本入り」
講師：味の素(株) 食品研究所 商品開発センター
包装設計グループ 小西 遼子 氏
テーマ③：「40年来の課題 大型重量物木枠包装から ALL 段ボール包装化実現」
講師：中津川包装工業(株) 営業本部 販売推進部 部長 大山 孝一 氏
中津川包装工業(株) 営業本部 販売推進部 竹内 美穂 氏
- (6) セミナー・シンポジウム
- ①第27回化粧品包装セミナー 参加者 68名
12月11日(水) JPI 会議室
大テーマ：「ベーシックな技術から更なるステップアップへ!!」
テーマ①：『エアゾールの基本設計と最近の傾向・特徴』
講師：東洋エアゾール工業(株) 研究開発部 部長 加藤 猛 氏
テーマ②：『粘着ラベル素材概論』
講師：リンテック(株) 事業統括本部 印刷・情報材事業部門
市場開発室長 兼 マーケティンググループ長 山本 貴司 氏
テーマ③：『なぜ今、世界から日本の化粧品・トイレタリーパッケージが注目されるのか』
講師：P&G (P&G イノベーション合同会社) 研究開発本部
プレミアムパッケージング COE・シニアサイエンティスト 藤田 志津香 氏
- ②第15回包装材料セミナー
1月31日(金) 富士ソフト アキバプラザ セミナールーム1 参加者 157名
大テーマ：「サステナブル社会に向けたプラスチックリサイクル最新動向」
テーマ①：「BASFによるサステナブル社会への取り組み
— “ChemCycling” 環境型プラスチックエコノミーに向けた新手法—」
講師：BASF East Asia Regional Headquarters Ltd. Dr. ラウプ ニコラウス 氏
テーマ②：『PLANTIC』と「エバール」の最新動向と環境リサイクル対応型包材への適用』

- 講師：(株)クラレ エバール事業部 フィルム販売部 ブランティックグループ
リーダー 片倉 剛志 氏
(株)クラレ エバール事業部 品質・技術統括部 技術サービスグループ
リーダー 黒崎 一裕 氏
- テーマ③：『環境型社会の実現に向けたプラスチック製容器包装のリサイクル技術の開発』
講師：東洋インキ(株) 第二技術本部長 安田 秀樹 氏
- テーマ④：『テラサイクルの新たな挑戦
ー廃棄物ゼロ実現する循環型ショッピングプラットフォーム“LOOP”ー』
講師：テラサイクル ジャパン アジア・リージョナル・マネージャー
エリック カワバタ 氏

③第28回化粧品包装セミナー

- 2月27日(木) JPI 会議室 中止
大テーマ：「材料・形態・機能から考える化粧品包装の現状と進化」
テーマ①：『ウレタンフォーム素材概論』
講師：(株)イノアックコーポレーション 発泡品事業部
ウレタン技術部部長 西村 嘉修 氏
- テーマ②：『流通や通販現場での課題に対応した様々な包装形態・システムについて』
講師：レンゴー(株) 開発本部 開発営業第一部 部長代理 藤井 利明 氏
- テーマ③：『泡スタンドハンドソープの容器開発
ー楽しくて簡単な手洗いでキレイの習慣化を目指して』
講師：花王(株) 包装技術研究所 大西 洋 氏

④2019年度医薬品包装セミナー

- 3月13日(金) 長井記念ホール 中止
大テーマ：「SDGs、医療安全の実現に向けた医薬品包装の役割を考える」
テーマ①：『環境と包装（新しい環境課題下でのバイオマスプラスチックの動向と
医薬品包装）』
講師：(一社)日本有機資源協会 副会長・北海道大学 名誉教授 木村 俊範 氏
- テーマ②：『医薬品個装箱の改ざん防止機能を医療現場が求める機能と併せて考える』
講師：富山スガキ(株) 企画制作部 設計開発課 課長 医薬情報室室長 跡治 立多 氏
- テーマ③：『薬物治療と服薬管理』
講師：(株)MediFrame 代表取締役 和田 敦 氏
- テーマ④：『選ばれる医薬品表示や包装とは ～医療安全の観点から～』
講師：京都府立医科大学付属病院 薬剤部長
医薬品安全管理責任者 臨床治験センター 副センター長 四方 敬介 氏

⑤第7回包装近未来シンポジウム

- 3月24日(火) CIVI 研修センター秋葉原 D205 ホール 中止
テーマ①：『気候変動リスクと「卒炭素」への道』
講師：国立研究開発法人 国立環境研究所 地球環境研究センター
副センター長 江守 正多 氏

テーマ②：『サステナビリティに対して日本企業はどう対応すべきか』

～中長期ビジョン、戦略策定の必要性～

講師：特定非営利活動法人 サステナビリティ日本フォーラム

代表理事 後藤 敏彦 氏

テーマ③：『ネスレのパーパス(依存意義) -CSV(共通価値の創造)の実践-』

講師：ネスレ日本(株) コーポレートアフェアーズ統轄部

コーポレートコミュニケーション室 室長 阿部 純一 氏

テーマ④：『欧州および日本におけるプラスチックのマテリアル・ケミカルリサイクルの
動向並びにその一端を担うエレマの技術の特徴について』

講師：(株)湘南貿易 代表取締役 橋本 則夫 氏

テーマ⑤：『(日本包装専士会「2030年の包装未来予測から見た」)資源循環型社会を
目指す容器包装の新潮流』

講師：大和製罐(株) 技術開発センター 軟包装容器開発室 橋本 香奈 氏

⑥第10回パッケージイノベーションセミナー

3月27日(金) AP日本橋 Fルーム 中止

テーマ①：『石灰石から作る革新的新素材 LIMEX

～サステナビリティ革命に向けた挑戦～』

講師：(株)TBM 開発・生産本部/リエゾン 多田 貴則 氏

テーマ②：『粘土を主成分とする膜と包装材料への展望』

講師：産業技術総合研究所 化学プロセス研究部門 首席研究員 蛭名 武雄 氏

テーマ③：『部活から始めるイノベーション ～B2B企業とクリエイティブの出会い～』

講師：三井化学(株) コーポレートコミュニケーション部 松永 有理 氏

テーマ④：『植物由来の透明な紙「セルロースフィルム」の環境適性と包装材への応用』

講師：フタムラ化学(株) 中部統括 開発グループグループリーダー 花市 岳 氏

(7) 包装懇話会(各テーマ4回開催)

①食品流通包装懇話会 7月10日(水)・9月27日(金)・11月18日(月)・1月24日(金)

②医薬品包装懇話会 5月31日(金)・9月20日(金)・10月16日(水)(特別企画)・
11月1日(金)・2月21日(金)

③パッケージデザイン懇話会 5月24日(金)・8月23日(金)・11月29日(金)・
2月28日(金)のみ延期

④輸送包装懇話会 7月5日(金)・11月15日(金)・2月17日(月)・
3月5日(木)のみ中止

<交流事業>

国内事業においては、半日の工場見学を企画・実施している。また、海外事業では、アジア包装連盟(APF)及び世界包装機構(WPO)との連携行事に参加し、ワールドスターコンテスト表彰式においては、受賞者を対象にチェコへ視察団の派遣を行った。

1) 国内事業

(1) 月例見学会 (年4回開催)

第303回	味の素食品(株) 高津工場	7月23日(火)	参加者26名
第304回	ECOS FACTORY	11月15日(金)	参加者27名
第305回		2月	中止
第306回		3月	中止

2) 海外事業

(1) 2019 ワールドスター・チェコ包装視察団の派遣

5月14日(火)～19日(日) 6日間 (チェコ/プラハ) 参加者10名

- ・ワールドスター2019表彰式への出席
- ・包装関連現地企業の視察(2社)
- ・現地大型スーパー視察

(2) アジア包装連盟 (APF) との連携

理事会 9月16日(月)～9月18日(水) タイ/バンコク

加盟15ヶ国中、8ヶ国の代表が参加し、理事会・アジアスター2019コンテスト・ならびに表彰式が行われた。

アジアスターコンテストには、118点のエントリーがあり、審査の結果、75点(日本の13点を含む)が本年のアジアスター賞を獲得した。

(3) 世界包装機構 (WPO) との連携

①理事会 5月15日(水) チェコ/プラハ

ワールドスター2019の表彰式、世界包装会議、他

②理事会 11月4日(月)～7日(木) インドネシア/バリ

ワールドスター2020コンテスト審査、世界包装会議、他

加盟62ヶ国中、21ヶ国の代表が参加し、理事会、世界包装会議及びワールドスターコンテストが開催された。コンテストには各国から325点のエントリーがあり、審査の結果、日本からは34点が本年のワールドスター賞を獲得した。

(4) 国際包装研究機関連絡会 (IAPRI) との連携

2019 IAPRI世界包装会議 6月11日(火)～14日(金) オランダ/トゥウエンテ

IAPRI事務局と連携しメール等により情報交換を行っている。

(5) 国内・海外での包装関係者とのミーティング

- ①6月21日(金) 台湾包装協会関係者への講演 (台北)
テーマ:「日本パッケージングコンテストに見る最新包装トレンド」
- ②6月26日(水) スウェーデン包装関係者とのミーティング (ストックホルム)
- ③7月18日(木) オランダ包装協会関係者とのミーティング (アムステルダム)
- ④9月12日(木) アルゼンチン包装協会関係者とミーティング (ブエノスアイレス)
- ⑤9月18日(水) パックプリント展にて講演 (バンコック)
テーマ:「海洋プラスチックの問題とどう向き合うか」
- ⑥10月29日(火) 世界包装記者クラブ(IPPO)関係者とミーティング (東京)

- ⑦10月31日(木) 中国輸出商品包装研究所(CEPI)への講演 (北京)
 テーマ:「日本の循環経済及び海洋プラスチック問題への対策」
- ⑧2月13日(木) タイ国立食品研究所関係者への講演 (東京)
 テーマ:「日本の食品包装のトレンド」

<普及啓発事業>

本事業の中心となる日本パッケージングコンテストは、経済産業省、日本商工会議所等の後援のもとに毎年開催されている。一般に対してもホームページからの募集を行っており参加が可能である。本年度も大学、公的機関及び消費者団体の方々に構成された審査員によって各賞を決定し、入賞製品(最高賞は経済産業大臣賞)をグッドパッケージ展として暮らしの包装商品展 2019 の特設会場において一般公開した。

木下賞については、本年度も審査員は官学からの有識者で構成され、応募はホームページを通して一般にも公開されるため誰でも無料で応募できるが、審査基準は大変高くまた厳しいものとなっている。また、受賞製品においてはその年の最高技術水準にあったということで、最近では消費者も大いに関心を示している。

1) 第43回木下賞 審査選考:4月 表彰式:6月(総会時)

審査選考 4月22日(月) (審査委員長 小野 擴邦 氏(東京大学名誉教授))

表彰式 6月18日(火)(総会時)

応募件数 19件 受賞件数 7件

A. 研究開発部門:1件

「一度に広範囲に噴霧できる浴室洗剤用トリガー式スプレーヤの開発」 ライオン(株)

B. 改善合理化部門:2件

「ビールテイスト飲料用軽量アルミ缶蓋の開発」 サッポロビール(株)
 大和製罐(株)

「国内最軽量 炭酸飲料用キャップ」 アサヒ飲料(株)
 日本クロージャー(株)

C. 新規創出部門:1件

『より快適に』を追求した調味料容器」 キューピー(株)
 メビウスパッケージング(株)
 日本クロージャー(株)
 東洋製罐グループホールディングス(株)

包装技術賞:3件

「段ボールのバネ性を利用した“潰れない”緩衝仕切」 TOTO(株)

「落下解析を用いた射出成形によるプラスチック材の緩衝材活用」 富士ゼロックス(株)

「ロッテ EATMINT 金属調加飾プラ容器開発」 (株)ロッテ
 凸版印刷(株)

*審査員は10名で、経済産業省をはじめとする公的組織からの代表や学識経験者により構成され、企業からの参加はない。

2) 2019 日本パッケージングコンテスト (第41回)

審査委員は17名で経済産業省をはじめとする公的組織からの代表や学識経験者によって構成され、企業からの参加はない。

審査選考 6月13日(木) (審査委員長 小野 擴邦 氏(東京大学名誉教授))

応募 389点 133点が入賞(内、13点がジャパンスター賞)

経済産業大臣賞「“お手軽輸送, 楽々梱包できる” ドローン運搬箱」(株)デンソーロジテム

3) 2019 グッドパッケージング展

10月10日(木)～11日(金) 暮らしの包装商品展会場内

上記コンテストにおいて入賞したパッケージ133点(ジャパンスター賞13点、グッドパッケージング賞120点)の展示を「暮らしの包装商品展2019」の会場で行った。

また、入賞したパッケージは、すべて作品説明を和英で作成し、雑誌「包装技術」で紹介した他、小冊子として作成し国内及び全世界に広報を行った。

2. 展示会事業 (公益目的事業 2)

本年度は、隔年開催の暮らしの包装商品展の開催年であった。本展は包装関係者と消費者が集い、より良い包装について共に考え、普段何気なく使用している包装が果たす役割や重要性について理解を深めていただくことを目的に開催した。会期2日目はあいにくの天候となったが、前回は上回る9,601名の入場者が訪れた。

一方、TOKYO PACK 2021(東京国際包装展)は、会場となる東京ビッグサイトが2020年の東京オリンピック・パラリンピックの付帯設備として使用されるため、2021年2月での開催となるが、本年度は実行委員会を立ち上げ、9月24日より出展申し込みを開始した。また中国・タイ・アルゼンチン・台湾で開催された海外包装展に日本包装技術協会として出展し、TOKYO PACK 2021への、海外からの出展及び来場誘致を行った。

1) 暮らしの包装商品展2019

会 期: 2019年10月10日(木)～10月11日(金) 2日間 11:00～18:00

会 場: 東京駅丸の内「KITTE」1Fアトリウム／

東京シティアイ地下1Fパフォーマンスゾーン

コンセプト: 知ってなっとく! 包装容器の新事実!

～身近な製品からみる包装の知られざる機能やひみつを紹介します～

同時開催: 2019 グッドパッケージング展、第43回木下賞受賞作品展、クイズラリー

後 援: 経済産業省

出 展 者: 16社・団体 (五十音順・法人格 敬称略・主催者ブース含む)

イオン、王子グループ、開伸、花王、キリンホールディングス、サントリーホールディングス、大日本印刷、田岡製罐、凸版印刷、日本製紙グループ、福島印刷工業、ホリアキ、ポリオレフィン等衛生協議会、雪印メグミルク、ライオン、日本包装技術協会

クイズラリー景品協賛企業: 28社 (五十音順・法人格 敬称略)

浅野段ボール、旭化成、旭・デュポン フラッシュスパン プロダクツ、イオン、井村屋、王子グループ、オパス、花王、カネパッケージ、

キッコーマンビジネスサービス、共和、キリンホールディングス、笹徳印刷、
 サントリーホールディングス、四国化工機、ダイナパック、大日本印刷、
 東海漬物、凸版印刷、日本製紙グループ、日本工業刃物、ブルボン、
 三菱商事パッケージング、モアデバイス、明治、雪印メグミルク、ライオン、
 理研ビタミン

来場者数：9,601名（1日目：4,863名、2日目：4,738名）

2) 2021 東京国際包装展の準備

名 称：TOKYO PACK 2021 - 2021 東京国際包装展

Tokyo International Packaging Exhibition 2021

テ ー マ：未来（あす）を拓く包みのテクノロジー

会 期：2021年2月24日（水）～2月26日（金）3日間 10:00～17:00

会 場：東京ビッグサイト（東京国際展示場）東1～6ホール

東京都江東区有明3-10-1

後 援：経済産業省（申請予定）

協 賛：包装関連団体 100 団体

出展内容：包装資材・容器 包装機械 印刷・包材加工機械 食品・医薬品・クリーン関連
 機材、検査・計測・環境関連機材 包装デザイン・サービス 次世代テクノロジー、
 包装・物流ソリューション 海外出展

開催規模：600社・団体 2,400小間

来場動員：内外 15万人（来場登録者数：62,000人 総来場者数：150,000人）

併催行事：2020 グッドパッケージング展、2020 木下賞受賞作品展

出展社による最新包装技術セミナー、PACKAGE DESIGN PAVILION 2021

出展募集期間：2019年9月24日（火）～2020年8月31日（月）

※早期割引期限：2020年1月31日（金）

出展社数・小間数：151社・926小間（4月1日現在）

3) 主要各国の展示会へのPR小間出展

*海外包装展に日本包装技術協会としてTOKYO PACK 2021 PRブースを出展し、海外からの出展及び来場を誘致

(1) 2019年6月19日（水）～22日（土） 台湾（台北）

TAIPEI PACK 2019（台北国際包装工業展）台北世界貿易センター南港館

(2) 2019年9月10日（火）～13日（金） アルゼンチン

2019 ENVASE ALIMENTEK Centro Costa Salguero（コスタ・サルゲロセンター）

(3) 2019年9月18日（水）～21日（土） タイ（バンコク）

アジア国際包装・印刷産業展 Bangkok International Trade & Exhibition Centre
 (BITEC)

(4) 2019年11月25日（月）～28日（木） 中国（上海）

包装世界（上海）博覧会（SWOP）上海新国際博展センター

3. 調査研究事業（公益目的事業 3）

現在、日本は、ISO/TC122(包装)の議長及び、国際幹事国を引受けており、当会は、包装分野の国内審議団体の他に、国際事務局としてISO規格の開発・改廃を進め、これらを通じて国際間の相互理解促進に寄与する。本年度は、アクセシブルデザインのISO22015「取扱いと操作」のFDIS承認を受け、7月に発行となった。次年度には、JIS規格化に取り組む予定である。さらに、今後はISO新規企画テーマの前段として、JIS新規規格テーマに向けての準備を開始した。また、「包装と環境に関する国際標準化開発」ではISO4180「包装貨物試験法」は、FDIS承認を受け、11月に発行となった。さらに、WG16「小口輸送のための温度制御輸送包装の国際標準化」は、国際幹事国と協力のもと企画開発を行っている。また、包装は国民の日常生活に深く係っており、絶えず、その標準化を見直し、生活し易い環境を整えることが求められていることから、ISO規格のJIS規格化への対応や見直し作業を精力的に進めている。

日本の包装産業出荷統計に関する調査研究は、昭和38年の創立以来欠かさずことなく継続しており、本年度も平成30年の統計の刊行を行った。これは、当会ホームページで紹介される他、英文で世界各国に公表を行った。

1) ISO/TC122(包装)の議長・国際幹事国(事務局)としての活動

- ・第22回TC122総会（6月27日開催、ストックホルム、スウェーデン）
- ・各規格委員会の国際会議（6月25日～26日開催、同上）

2) ISO/TC122(包装)の国内審議団体としての調査研究及び標準開発活動

(1) 包装全般、危険物輸送容器包装等の定期見直し規格に関する調査研究

(2) 「省エネルギー等国際標準開発」に対する調査研究

- ・包装貨物試験方法 - 通則（改正提案：2019.11発行）
- ・小口輸送のための温度制御輸送包装（開発中）
- ・包装の環境配慮－包装最適化設計の手引き（2020新規提案予定）
- ・非危険物用フレキシブルコンテナ（2020新規改正提案予定）
- ・温度制御が必要な医薬品包装の適正物流一般要求事項及び試験方法（2019開発中）
- ・非滅菌医療機器包装の適正物流一般要求事項及び試験方法（2019開発中）

(3) 「包装のアクセシブルデザイン」に関する国際規格化の推進

- ・ISO新規テーマに向けてのJIS新規テーマの調査・準備

3) JIS制定・改正に関する調査研究

(1) 包装の環境適正化に関するJISの原案の継続事業の実施

- ・JIS Z 0232 包装貨物・振動試験方法の改正（2020.2に発行）
- ・JIS Z 0208 防湿包装材料の透湿度試験方法の改正（2020.4開発予定）
- ・アクセシブルデザイン－情報と表示－の制定への対応（2020.2に発行）
- ・アクセシブルデザイン－取扱いと操作－の制定準備（2020.4開発予定）

(2) 5年経過したJISの定期見直し

上記調査研究は、政府関連機関からの委託事業であり、本年度は見直し終了。来年度は、今後検討を行う。

4) 平成30年の日本の包装産業出荷統計に関する調査研究

包装・容器出荷金額	5兆6,404億円	(前年 5兆5,967億円)	前年比 100.8%
包装関連機械生産金額	5,041億円	(前年 5,039億円)	前年比 100.0%
合計金額	6兆1,445億円	(前年 6兆1,006億円)	前年比 100.7%

5) 包装技術教育高度化に関する研究・開発

4. 出版関連事業 (収益事業)

- 1) 機関誌「包装技術」の刊行 月刊 (3月号で通巻683号)
- 2) 「包装用語辞典(仮称)」の発刊準備 2021年度 発刊予定
- 3) 「Q&A容器包装規制基準の手引き」誌の編纂
- 4) 包装技術便覧(2019年2月発刊)の販売

第2. 諸 会 議

- 1) 理事会 5月21日(火)、6月18日(火)、3月13日(金) (書面理事会)
- 2) 常務理事会 5月21日(火)、11月14日(木)
- 3) 全国支部連絡会 5月9日(木)、11月20日(水)

第3. 行事・その他の活動

1) 行事

- (1) 第8回定時総会 6月18日(火) 如水会館
参加者 746名 (委任状出席者含む)

(2) 2020年新年会

本 部	2020年1月8日(水)	ホテル椿山荘東京
関西支部	2020年1月14日(火)	大阪倶楽部
中部支部	2020年1月16日(木)	ホテルキャッスルプラザ
東北支部	2020年1月16日(木)	江陽グランドホテル
北海道支部	2020年1月28日(火)	ホテルニューオータニイン札幌

2) その他の活動

- (1) Webサイトによる最新情報の提供 定期更新12回、その他逐次情報更新
- (2) Eメールによる協会活動内容の国内配信 メールマガジン年間12回
- (3) J P I 関連団体との連絡提携
日本包装専士会、日本包装管理士会、日本包装コンサルタント協会、
技術士包装物流会 日本包装学会、日本MH協会、他
- (4) 行政機関要請への協力と連携、研究機関、消費者団体、市民団体等との連携
経済産業省、厚生労働省、農林水産省、中小企業庁、消費者庁、東京都、
横浜市、(地独)大阪産業技術研究所、兵庫県工業技術センター、
あいち産業科学技術総合センター 他

第4. 組 織

会員動勢（2019年4月1日～2020年3月31日）は、次の通りである。

1. 法人会員

2019年度期首	2019年度		
1040社	入会数 30社	退会数 41社	現在数 1029社

2. 個人会員

2019年度期首	2019年度		
162名	入会数 21名	退会数 19名	現在数 164名

<会員登録動勢一覧>

	2019年 4月1日		本年度		2019年度 合計
			入会	退会	
会員総数	1202		51	60	1193
法人	1040社		30社	41社	1029社
（口数）	（1067）		（30）	（41）	（1056）
個人	162名		21名	19名	164名
登録員数	法人	1040社 2782名	30社 79名	41社 91名	1029社 2770名
	個人	162名	21名	19名	164名
	合計	2944名	100名	110名	2934名
本部（東京）	法人	1611名	39名	59名	1591名
	個人	86名	5名	11名	80名
関西支部	法人	594名	21名	13名	602名
	個人	34名	10名	2名	42名
中部支部	法人	394名	6名	7名	393名
	個人	23名	3名	4名	22名
西日本支部	法人	94名	13名	11名	96名
	個人	5名	1名	1名	5名
北海道支部	法人	46名	0名	0名	46名
	個人	2名	0名	0名	2名
東北支部	法人	43名	0名	1名	42名
	個人	12名	2名	1名	13名

支 部

(北海道支部・東北支部・中部支部・関西支部・西日本支部)

2019年4月1日～2020年3月31日

◎北海道支部

第1. 事業

<研修、育成事業> (公益目的事業 1)

1) 第54期包装管理士講座

※奇数年度につき、札幌会場の開講無し

2) 研究会・講演会

(1) 支部総会特別講演

6月18日(火) ニューオータニイン札幌 参加者 43名

テーマ:「2030年包装の未来予測シリーズから

『循環型社会の視点からみた包装の未来』

講 師:大和製罐(株) 技術開発センター 軟包装容器開発室 橋本 香奈 氏

(2) 包装懇話会(日本包装管理士会北海道支部と共催)

11月14日(木) ニューオータニイン札幌 参加者 32名

テーマ:「生鮮食品の品質保持包装とその最適化」

講 師:千葉大学 大学院園芸学研究科 教授 椎名 武夫 氏

(3) 新春研究会(日本包装管理士会北海道支部と共催)

1月28日(火) ニューオータニイン札幌 参加者 52名

テーマ:「海外パッケージの環境対策」

講 師:(株)パッケージング・ストラテジー・ジャパン 取締役社長 森 泰正 氏

(4) 包装基礎セミナー

2月18日(火) ニューオータニイン札幌 参加者 63名

テーマ:「未開封の包装史」農産物包装の歴史と今後必要とされる包装資材とは？」

講 師:(株)精工 取締役営業企画本部長 大枝 麻由 氏

<交流事業> (公益目的事業 1)

1) 企業見学研究会(北海道生産性本部と共催)

10月31日(木) 参加者 20名

見学先 ①新十津川町 スマート農業技術の開発・実証プロジェクトの視察

見学先 ②地方独立行政法人北海道立総合研究機構 食品加工研究センター

第2. 諸会議

1) 第1回支部運営委員会 5月22日(水) 札幌すみれホテル

2) 第2回支部運営委員会 12月11日(水) 札幌すみれホテル

第3. 行事・その他の活動

1) 支部定時総会

6月18日(火) ニューオータニイン札幌 参加者 17名

- 2) J P I 北海道支部・I P P 北海道支部合同親睦会
7月26日(金) 北海道ビール園 参加者 27名
- 3) 2020年賀詞交歓会(日本包装管理士会北海道支部と共催)
1月28日(火) ニューオータニイン札幌 参加者 35名

◎東北支部

第1. 事業

<研修、育成事業> (公益目的事業 1)

1) 第54期包装管理士講座(仙台会場)

・材料教科

6月25日(火)～6月27日(木) 仙台商工会議所会館

・専門教科(輸送包装)

7月9日(火)～7月12日(金) 仙台商工会議所会館

受講者 19名 合格者 19名(輸送包装コース 12名、生活者包装コース 7名)

2) 研究会・講演会

(1) 特別講演会(東北生産性本部・東北 I E 協会共催)

6月25日(火) 仙台商工会議所会館 参加者 40名

テーマ:「東北地域経済の持続的な成長にむけて」

講師:経済産業省 東北経済産業局長 相楽 希美 氏

(2) 先進企業事例講演会(東北生産性本部・東北 I E 協会共催)

参加者 32名

10月3日(木) 仙台商工会議所会館

テーマ①:「オムロンが考えるロボット活用によるモノづくり核心」

講師:オムロン(株) 営業本部ロボット推進本部プロジェクトリーダー 加藤 慎司 氏

テーマ②:「ロボットによる解決法を考える」

講師:ボッシュパッケージングテクノロジー(株) 国内営業本部 串田 智志 氏

(3) 東北支部包装技術研究発表会

11月7日(木) 仙台商工会議所会館 参加者 38名

テーマ①:「PTPシートポケット膜厚コントロールによる耐衝撃性能への影響」

発表者:シミックCMO(株) 高橋 亮路 氏

テーマ②:「有孔袋による青果物の鮮度保持性能の改善」

発表者:(株)精工 中島 恒 氏

テーマ③:「持続的リサイクルシステム確立と循環経済(CE型)社会推進への課題」

発表者:東興包装材料(株) 後藤 匡人 氏

テーマ④:「ステンレス製品の複合製品による包装改善」

発表者:酒井化学工業(株) 谷本 光史 氏

テーマ⑤:「座屈がある場合の緩衝包装設計技法について」

発表者:(株)東北ウエノ 鈴木 達也 氏

テーマ⑥:「パットイラ〜ズによる包装材改善」

発表者：王子コンテナ(株)	澤田 一男 氏
テーマ⑦：「イヤー止めの材料変更による環境配慮の向上」	
発表者：王子コンテナ(株)	藤島 祐吾 氏
テーマ⑧：「通販用出荷箱の包装改善による梱包・開封の作業性向上」	
発表者：王子コンテナ(株)	三浦 理沙 氏
テーマ⑨：「複写機包装材の原価低減」	
発表者：リコーテクノロジーズ(株)	及川 康一郎 氏
テーマ⑩：「一升瓶6本入段ボールの天蓋開発による包装改善」	
発表者：東北カートン(株)	久慈 朋大 氏
テーマ⑪：「きゅうり用段ボール材質見直しの為の輸送試験」	
発表者：東北森紙業(株)	一戸 敏樹 氏
テーマ⑫：「ブロッコリーの鮮度保持を目的とした 水抜き機能付き発砲セロロール容器の開発と冷却重要性及びその効果」	
発表者：トーヨー工業(株)	今井 貴史 氏

(4) 2020年新年名刺交換会講演会 (東北生産性本部・東北IE協会共催)

1月16日(木) 江陽グランドホテル

テーマ：「写真家が世界50カ国を旅して思ったこと」

講師：写真家

茅原田 哲郎 氏

<交流事業> (公益目的事業 1)

1) 企業見学会 (東北生産性本部・東北IE協会と共催)

9月19日(木)

参加者 20名

見学先 ①株式会社デンソー福島

②王子コンテナ株式会社福島工場

第2. 諸会議

- | | | |
|---------------|----------|-----------|
| 1) 第1回支部運営委員会 | 6月10日(月) | 仙台商工会議所会館 |
| 2) 第2回支部運営委員会 | 11月7日(木) | 仙台商工会議所会館 |

第3. 行事・その他の活動

- | | | |
|-----------------------|-----------|---------|
| 1) 第54期包装管理士講座合格証書授与式 | | |
| 11月7日(木) | 仙台商工会議所会館 | 参加者 28名 |
| 2) 新包装管理士を囲む会 | | |
| 11月7日(木) | 仙台商工会議所会館 | 参加者 20名 |
| 3) 2020年新年名刺交換会 | | |
| 1月16日(木) | 江陽グランドホテル | 参加者 43名 |

◎中部支部

第1. 事業

＜研修、育成事業＞（公益目的事業 1）

1) 第54期包装管理士講座（名古屋会場）

- ・材料教科（輸送包装－生活者包装／共通教科）

6月19日（水）～6月21日（金）愛知県産業労働センター

- ・専門教科（輸送包装コース）

7月2日（火）～7月5日（金）愛知県産業労働センター・愛知県技術開発交流センター

- ・専門教科（生活者包装コース）

7月9日（火）～7月12日（金）愛知県産業労働センター

（受講者79名、合格者79名）輸送包装コース53名、生活者包装コース26名

2) 研究会・講演会

研究会

(1) 包装資材研究例会

参加者 65名

6月27日（木）愛知県産業労働センター（ウイंकあいち）11階1103会議室

大テーマ：包装材のリサイクル促進に向けて

テーマ①：「トッパンの環境対策型パッケージの取り組み」

講師：凸版印刷(株) 生活・産業事業本部B I C開発本部第一開発部課長 香川 幸子 氏

テーマ②：「リサイクル時に粘着力を消失する容器用ラベルの開発」

講師：王子タック(株) 開発営業グループ 担当部長 佐々島 伸之 氏

テーマ③：「プラスチック容器のリサイクルプラント企業から容器包装に望むこと」

講師：ヴェオリア・ジェネッツ株式会社 プラスチックリサイクル本部 副本部長

喜田 知克 氏

(2) 輸送包装研究例会

参加者 59名

7月24日（水）愛知県産業労働センター（ウイंकあいち）11階1103会議室

大テーマ：輸送包装全般の課題解決に向けて

テーマ①：「機能性段ボールの用途展開と低摩擦段ボール【コスレン】の開発」

講師：レンゴー(株) 中央研究所 商品第一部 商品開発第一課主任 所のぞみ 氏

テーマ②：「青果物輸送の円滑化に寄与する発泡スチロール製ワンウェイパレットの特長」

講師：長崎県農林技術開発センター 研究企画部門研究企画室 専門研究員

土井 謙児 氏

テーマ③：「スチール製輸送容器の特徴と評価試験の試験方法」

講師：親和パッケージ(株) ビジネスソリューション事業推進室室長

渋谷 昌宏 氏

(3) 生活者包装研究例会

参加者 50名

9月19日（木）愛知県産業労働センター（ウイंकあいち）11階1103会議室

大テーマ：～食品ロス削減する様々な事例紹介と食品包材の最新動向～

テーマ①：「気象データを利用した需要予測の共有化による食品ロス削減と

包材の欠品を防ぐ取り組み」

講師：(一財)日本気象協会 中部支社 事業サービス課 課長

川村 文芳 氏

テーマ②：「鮮度を長く保持する【オーラパック】で野菜の廃棄削減をめざす」

講師：㈱ベルグリーンワイズ マーケティンググループ 執行役員統括 赤尾 勉 氏

テーマ③：「食品ロスを減らすアクティブパッケージと

インテリジェントパッケージの最新動向」

講師：(一社)日本食品包装協会 理事長 石谷 孝佑 氏

(4) 包装技術研究例会 参加者 53 名

10月9日(水) 愛知県産業労働センター(ウインクあいち) 11階 1103 会議室

大テーマ：段ボールで出来る機能性包装の現状と

デジタル印刷及びシミュレーションを使った包装容器開発の効率化

テーマ①：「段ボールで出来る機能性包装の現状」

講師：ダイナパック株式会社 開発本部中部 CSC 設計グループ 課長 早川 貴司 氏

テーマ②：「進化を続ける HP デジタル印刷の特性と応用例、市場動向」

講師：㈱日本HP PageWide Industrial-Packaging

Japan Sales account manager

永嶋 ゆり 氏

デジタルプレス事業本部 ソリューションアーキテクト

土田 泰弘 氏

テーマ③：「シミュレーションを使った包装容器開発の効率化」

～最適な容器を設計するには?～

講師：アルテアエンジニアリング㈱ 執行役員技術本部長

阿部 大生 氏

(5) 包装技術講習会 参加者 72 名

11月13日(水) 愛知県産業労働センター(ウインクあいち) 11階 1103 会議室

大テーマ：振動・衝撃試験の基礎と輸送包装試験の最新情報

テーマ①：「振動・衝撃の基礎と輸送試験の必要性、輸送試験方法の新しい課題」

講師：エミック㈱ 技術顧問

井下 芳雄 氏

テーマ②：「輸送包装試験 I S T A / A S T M の最新動向」

講師：日本ビジネスロジスティクス㈱

包装ソリューション事業部 藤沢事業所 課長

小俣 一典 氏

講演会

(1) 第56回定時総会記念講演会 参加者 55 名

6月14日(金) ホテルキャッスルプラザ 3階「孔雀の間」

テーマ：「スーパー台風の眼に飛び込む

～台風研究の最前線と地球温暖化に伴う将来変化予測～」

講師：国立大学法人名古屋大学 宇宙地球環境研究所附属統合データサイエンスセンター

教授(工学博士)

坪木 和久 氏

(2) 2019 日本パッケージングコンテスト入賞作品発表会 参加者 81 名

12月4日(水) 愛知県産業労働センター(ウインクあいち) 11階 1103 会議室

内 容：入賞作品 6 作品発表

テーマ①：テクニカル包装賞「工場間輸送基板トレイ改善による輸送費コストダウン」

発表者：ソニーグローバルマニファクチャリング&オペレーションズ㈱

- 包装技術部設計3課 和田 成人 氏
- テーマ②：適正包装賞「ガーデンリビングのガラス輸送用梱包改善」
発表者：もりや産業(株) 名古屋事業所カスタマーサポート部係長 夏目 悟 氏
- テーマ③：工業包装部門賞「究極のリターンブル！モジュラー型緩衝材の開発」
発表者：(株)デンソーエアークール 開発部技術支援室 原口 裕司 氏
- テーマ④：大型・重量物包装部門賞「フェューエルパイプ集合包装仕様改善」
発表者：ムサシ王子コンテナ(株) 営業部東海営業所 海原 佑紀 氏
- テーマ⑤：(公財)日本生産性本部会長賞「エア緩衝材を用いた複合機包装」
発表者：コニカミノルタ(株) 第1製品設計部課長 吉田 成隆 氏
- テーマ⑥：経済産業省製造産業局長賞 「40年来の課題 大型重量物木枠包装から
ALL段ボール包装実現」
発表者：中津川包装工業(株) 営業本部販売推進部 竹内 美帆 氏
進行兼コメンテーター：あいち産業科学技術総合センター
産業技術センター 環境材料室 主任研究員 佐藤 幹彦 氏

(3) 第59回包装技術研究大会中部大会 参加者 103名

- 2月19日(水) 愛知県産業労働センター(ウイंकあいち) 11階 1103 会議室
- 内容：第54期包装管理士講座名古屋会場合格者による優秀論文の発表等
- テーマ①：「浴槽梱包材のオール段ボール化による包装改善」
発表者：(株)トーモク 小牧工場販売二課 大神 達也 氏
- テーマ②：「段ボール包装材の材質・形状変更によるコストダウン品の評価」
発表者：京セラ(株) 物流事業部物流技術課 北元 雄 氏
- テーマ③：「耐寒性に優れるPPF容器の開発」
発表者：リスパック(株) 技術開発本部技術成形開発部 市川 浩志 氏
- テーマ④：「重量物ロール製品 宙吊り梱包におけるワンウェイ化について」
発表者：(株)トーカイエコボード新規事業部課長代理 伊藤 彰浩 氏
- テーマ⑤：「オルタネータ用ロータ 海外輸送時における品質改善について」
発表者：東海紙器(株) 包装技術部 加藤 華子 氏
- テーマ⑥：「油性印刷機で使用可能な水性グラビアインキの開発」
発表者：富士特殊紙業(株) 生産第一部二課次長 長谷川 恵 氏
- 特別発表：「お手軽輸送、楽々梱包できるドローン輸送箱」
発表者：(株)デンソーロジテム 包装管理室包装企画課 谷口 将之 氏
- 特別講演：「PL(ポジティブリスト)制度本格施行の動きと企業対応のあり方」
講師：塩ビ食品衛生協議会 常務理事 石動 正和 氏

(4) 第33回包装研究懇話会

- 3月4日(水) 見学会として企画 延期
見学先：竹本油脂(株) 亀岩工場

3) セミナー

- (1) 第29回包装設計の基礎講座 受講者 45名
5月16、17日(木、金) 愛知県技術開発交流センター 交流会議室・研修室

第1日目

テーマ①：「包装の役割と包装設計の考え方」

講師：京セラドキュメントソリューションズ(株)

プリンター統轄技術部 第42技術部 主事

船木 敬一 氏

テーマ②：「段ボール箱の基礎と応用」

講師：ダイナパック(株) 開発本部製品開発部 専任部長

澤田 幸美 氏

テーマ③：「段ボール箱の設計」

講師：ダイナパック(株) 開発本部製品開発部 専任部長

同上

テーマ④：「段ボール箱の製作」

講師：ダイナパック(株) 開発本部製品開発部 専任部長

同上

テーマ⑤：「機能性プラスチック包装材料」

講師：(株)アイセロ マーケティング本部 第2ビジネスユニット

プロダクトマネージャー

東松 孝典 氏

第2日目

テーマ⑥：「緩衝包装設計」

講師：あいち産業科学技術総合センター

産業技術センター 環境材料室 主任研究員

佐藤 幹彦 氏

テーマ⑦：「包装試験の目的と試験法」

講師：あいち産業科学技術総合センター

産業技術センター 環境材料室 主任

飯田 恭平 氏

見学会：あいち産業科学技術総合センター

産業技術センター 環境材料室 主任研究員

林 直宏 氏 他

テーマ⑧：「トータルコスト削減に向けた集合包装」

講師：三菱電機(株) 住環境研究開発センター

設計・品質技術開発部設計技術開発グループ

新井 達也 氏

テーマ⑨：「包装改善とロジスティクス」

講師：(株)デンソーロジテム 常務取締役

近藤 裕之 氏

<交流事業> (公益目的事業 1)

1) 見学会

9月18日(水)

参加者 38名

見学先①MR Jミュージアム(スペースジェット最終組み立て工場)と

あいち航空ミュージアム

②ポッカサッポロフード&ビバレッジ株式会社 名古屋工場

第2. 諸会議

- 1) 第56回支部役員会 5月29日(水) 名古屋マリオットアソシアホテル「ジュピター」
- 2) 第56回中部支部総会 6月14日(金) ホテルキャッスルプラザ 3階「孔雀の間」
- 3) 第1回 運営委員会 9月27日(金) ホテルキャッスルプラザ 4階「皐月の間」
- 4) 第2回 運営委員会 3月13日(金) 中止

第3. 行事・その他の活動

- | | |
|-------------------------------|----------|
| 1) 第56回中部支部総会 会員交流会 | 参加者 55名 |
| 6月14日(金) ホテルキャッスルプラザ 3階「孔雀の間」 | |
| 2) 第54期包装管理士合格証書授与式・交流会 | 参加者 109名 |
| 10月18日(金) メルパルク名古屋 | |
| 3) 2020年中部包装界新年賀詞交歓会 | 参加者 145名 |
| 1月16日(木) ホテルキャッスルプラザ 4階「鳳凰の間」 | |

◎関西支部

第1. 事業

1. 研修、育成、交流事業、普及啓発

<研修、育成事業> (公益目的事業 1)

1) 第54期包装管理士講座(大阪会場)

- ・材料教科(輸送包装-生活者包装/共通教科)

6月18日(火)~6月20日(木) ハートンホテル北梅田

- ・専門教科(輸送包装コース)

7月2日(火)~7月4日(木) ハートンホテル北梅田

7月5日(金) 大阪産業技術総合研究所 和泉センター

- ・専門教科(生活者包装コース)

7月9日(火)~7月12日(金) ハートンホテル北梅田

(受講者102名 合格者104名*再受講合格者含む)

輸送包装コース35名、生活者包装コース69名

2) 研究会・講演会

(1) 会員フォーラム(研究会)

- | | | |
|------------------------------------|------------------------|---------|
| ① 4月17日(水) | TKPガーデンシティ PREMIUM 心斎橋 | 参加者 37名 |
| テーマ:「消費者行動変化における売り場づくり」 | | |
| 講師: (株)Believe-UP 代表取締役 | | 信田 洋二 氏 |
| ② 6月26日(水) | TKPガーデンシティ PREMIUM 心斎橋 | 参加者 92名 |
| テーマ:「海外のパッケージの環境対策事情」 | | |
| 講師: (株)パッケージング・ストラテジー・ジャパン 取締役社長 | | 森 泰正 氏 |
| ③ 7月17日(水) | TKPガーデンシティ PREMIUM 心斎橋 | 参加者 81名 |
| テーマ:「日本の食品衛生法改正によるPL制度化と企業の対応・留意点」 | | |
| 講師: 西包装専士事務所 代表 | | 西 秀樹 氏 |
| ④ 8月21日(水) | TKPガーデンシティ PREMIUM 心斎橋 | 参加者 61名 |
| テーマ:「物流現場における包装・容器に関連する改善事例」 | | |
| 講師: 東京海洋大学 理事・副学長 | | 黒川 久幸 氏 |
| ⑤ 9月13日(金) | TKPガーデンシティ PREMIUM 心斎橋 | 参加者 86名 |
| テーマ:「器具・容器包装の制度改正について(食品衛生法改正)」 | | |
| 講師: 厚生労働省 医薬・生活衛生局 食品基準審査課主査 | | 木道 淳一 氏 |
| ⑥ 9月25日(水) | TKPガーデンシティ PREMIUM 心斎橋 | 参加者 85名 |

- テーマ：「海洋分解性を有するカネカ生分解性ポリマーPHBHTMの開発」
 講師：(株)カネカ R&B企画部兼新規事業開発部幹部職 藤木 哲也 氏
 ⑦10月16日(水) TKPガーデンシティ PREMIUM 心斎橋 参加者 77名
 テーマ：「海洋プラスチック問題に見る企業のリスクと機会」
 講師：(株)日経BP「日経ESG」編集エディター 相馬 隆宏 氏
 ⑧12月11日(水) TKP心斎橋駅前カンファレンスセンター 参加者 36名
 テーマ：「社会問題を解決するドローンの利活用について」
 講師：(株)アイ・ロボティクス 代表取締役社長 安藤 嘉康 氏
 ⑨2月19日(水) TKP心斎橋駅前カンファレンスセンター 参加者 39名
 テーマ：「(株)日立物流が取り組む“スマートロジスティクス”の最新状況と新たな展開」
 講師：(株)日立物流 ロジスティクスソリューション開発本部
 スマートロジスティクス推進部主任技師 嶋津 泰毅 氏
 スマートロジスティクス推進部主任技師 渡邊 高志 氏

(2) 生活者包装研究懇談会

- ①6月12日(水) 参加者 61名
 見学会 ①大阪ガス ガス科学館 ②全星薬品工業(株) 和泉工場
 ②9月18日(水) TKPガーデンシティ PREMIUM 心斎橋 参加者 57名
 テーマ①：「記憶に残る容器開発とトラブル原因究明」
 講師：キューピー(株) 技術ソリューション研究所 高山 崇 氏
 テーマ②：「医薬品の封の取扱いに関する局長通知、Q&A、ガイドラインについて」
 講師：MSD(株) サプライチェーンマネジメント部シニアスペシャリスト 神谷 文敏 氏
 ③12月4日(水) TKPガーデンシティ PREMIUM 心斎橋 参加者 66名
 テーマ①：「Crafting New Beauty～資生堂のデザインイノベーション～」
 講師：(株)資生堂 クリエイティブ本部デザインエクセレンスユニット
 エグゼクティブクリエイティブディレクター 信藤 洋二 氏
 テーマ②：「医薬品包装における科学的根拠に基づいたデザインの重要性」
 講師：千葉大学大学院 工学研究院 創成工学専攻 デザイン心理学研究室
 教授 日比野 治雄 氏
 ④2月12日(水) TKPガーデンシティ PREMIUM 心斎橋 参加者 65名
 テーマ①：「動きが活発な海外の直近のSDGs対応包装」
 ～Packaging4.0、プラスチックの再生再利用技術、デジタル化包装など～
 講師：住本技術士事務所 所長 住本 充弘 氏
 テーマ②：「医薬品流通の仕組みと流通から見た医薬品包装」
 講師：東邦ホールディングス(株) システム戦略本部長 鈴木 竜太 氏

3) セミナー・コース

(1) 第26回包装基礎コース

- 5月15日(水)～17日(金) ハートンホテル北梅田 参加者 35名
 「包装概論」 (公社)日本包装技術協会 理事・事務局長 園山 洋一
 「板紙・紙器」 大日本印刷(株) 包装事業部イノベーション・パッケージングセンター
 製品開発本部関西製品開発部第2課課長 辻本 隆亮 氏

「段ボール」 レンゴー(株) 包装技術部大阪包装技術第一課担当部長代理 杉田 裕紀 氏
 「金属缶」 東洋製罐(株)資材・環境・品質保証本部品質保証部茨木品質課長 谷野 友哉 氏
 「プラスチック容器」 東洋製罐(株) 資材・環境・品質保証本部品質保証部大阪品質課長
 登坂 龍作 氏
 「ガラス容器」 日本山村硝子(株) ガラスびんカンパニー生産本部
 技術開発部窯業設備チームリーダー 安藤 通浩 氏
 「プラスチックフィルム」 ユニチカ(株) フィルム事業部フィルム品質保証部長 中野 功 氏
 「生活者包装技法」 凸版印刷(株) 生活・産業事業本部パッケージソリューション事業部
 開発本部第四開発部課長 三宅 英信 氏
 「輸送包装技法」 シャープ(株) 品質・環境本部統轄部品質推進部参事 成本 裕一 氏

(2) 第13回緩衝包装設計実践コース 参加者 12名

10月18日(金) 大阪産業技術研究所 和泉センター

講 義：1. 緩衝材についての基礎知識
 2. 緩衝設計のための力学の基礎
 3. 緩衝理論～緩衝設計とは～

講 師：(地独)大阪産業技術研究所 和泉センター製品信頼性研究部

生活科学・輸送包装研究室主任研究員 津田 和城 氏

講義・演習：4. 発泡プラスチック緩衝材の設計手順
 5. 付属品と緩衝材のレイアウト検討
 6. グループ演習
 7. 落下試験・衝撃値測定
 8. 各種評価試験設備の見学

講 師：シャープ(株) 品質・環境本部統轄部 品質推進部 参事 成本 裕一 氏

(3) 第46回段ボール包装設計実習コース 参加者 28名

1月23日(木)・1月28日(火) ハートンホテル北梅田

講 義：『段ボール原紙、段ボール、段ボール箱、包装設計(寸法設計・強度設計)』

講 師：レンゴー(株) 開発本部包装技術部大阪包装技術第一課担当部長代理

杉田 裕紀 氏

1月24日(金)・1月29日(水) アイロップ(株)

実 習：『1. 寸法の算出 2. 試作実習 3. 試作品の圧縮試験および落下試験 4. 講評』

講 師：アイロップ(株) 包装技術部部長

吉木 宏 氏

アイロップ(株) 包装技術部リーダー

脇田 明和 氏

<交流事業> (公益目的事業 1)

1) 会員フォーラム見学会

(1) 11月14日(木) 参加者 40名

見学先：パナソニック(株) プロダクト解析センター
 松下幸之助歴史館 ものづくりイズム館

(2) 3月10日(火)

見学先：トヨタL&Fカスタマーズセンター大阪

中止

第2. 諸会議

- | | | | |
|--------------------|------------------------|---------|----------|
| 1) 支部役員会 | 5月31日(金) | ホテル日航大阪 | |
| 2) 支部運営委員会 | | | |
| 6月14日(金) | TKPガーデンシティ PREMIUM 心斎橋 | | |
| 12月11日(水) | TKPガーデンシティ PREMIUM 心斎橋 | | |
| 3月13日(金) | TKPガーデンシティ PREMIUM 心斎橋 | | 中止 |
| 3) 生活者包装研究懇談会実行委員会 | | | |
| 8月7日(水) | イマイビル | | |
| 3月6日(金) | イマイビル | | |
| 3月27日(金) | イマイビル | | Skype 会議 |

第3. 行事・その他の活動

- | | | | |
|--|----------------|---------|----------|
| 1) 関西支部総会 | 5月31日(金) | ホテル日航大阪 | 参加者 116名 |
| 2) 第54期包装管理士講座(大阪会場) 合格証書授与式及び成績優秀者の表彰・祝賀会 | | | |
| 10月25日(金) | ハートンホテル北梅田 | | 参加者 73名 |
| 3) 新春会員交流会 | | | |
| 1月14日(火) | 大阪倶楽部 | | 参加者 141名 |
| 記念講演会 | テーマ:「テレビ番組の世界」 | | |
| 講師: | フリーアナウンサー | | 宮根 誠司 氏 |

◎西日本支部

第1. 事業

1. 研修、育成、交流事業、普及啓発

<研修、育成事業> (公益目的事業 1)

- | | | | |
|---|--------------------------|--|---------|
| 1) 第54期包装管理士講座(福岡会場) | | | |
| ・材料教科(輸送包装-生活者包装/共通教科) | | | |
| 6月19日(水)~21日(金) | 西鉄イン福岡 | | |
| ・専門教科(輸送包装コース) | | | |
| 7月2日(火)~4日(木) | 西鉄イン福岡 | | |
| 受講者 35名・合格者 35名(輸送包装コース 22名、生活者包装コース 13名) | | | |
| 2) 研究会・講演会 | | | |
| (1) 輸送包装・生活者包装研究会 (第1回) | | | |
| 5月16日(木) | 西鉄イン福岡 | | 参加者 20名 |
| テーマ①:「物づくりのプロセス」 | | | |
| 講師: | イオン九州(株) 商品本部 顧問 | | 立石 弘司 氏 |
| テーマ②:「HACCP 制度化への備え~ 自主的な衛生管理のすすめ」 | | | |
| 講師: | (一財)日本食品分析センター 教育・研修部 部長 | | 植田 浩之 氏 |
| (2) 輸送包装・生活者包装研究会 (第2回) | | | |
| 10月18日(金) | 西鉄イン福岡 | | 参加者 15名 |

テーマ：「プラスチック廃棄物問題の海外における最新動向について」
(SGDs、海外の企業動向等)

講師：(株)東洋紡パッケージング・プラン・サービス(東洋紡 PPS)
教育情報部 主任

羽馬 友子 氏

(3) 特別講演会

7月31日(水) 西鉄イン福岡 参加者 36名

テーマ：「海洋プラスチック問題をめぐる国内外の動き」

【世界の動き】【国内の動き】【包装産業への期待】

講師：(公社)日本包装技術協会 包装技術研究所 包装材料研究室長 平田 成

(4) 2019 包装事例研究発表会・交流会

11月1日(金) 西鉄イン福岡ホテル 参加者 40名

テーマ①：「レーザー加工技術を用いたユニバーサルデザイン包装袋の開発」

発表者：大日本印刷(株) 包装事業部技術開発本部軟包装技術第4部

筑後プロセス課 古賀 陽介 氏

テーマ②：「大型ガラスを輸送する段ボール箱と緩衝材の開発」

発表者：(株)日東ディード 営業

牟 小磊 氏

テーマ③：「セラミックス製高精度製品包装改善」

発表者：京セラ(株) 物流事業部 国内物流部 国分物流課

上園 剛史 氏

テーマ④：「新形状による液晶モジュール用包装材の開発」

発表者：三菱電機ロジスティクス(株) 熊本事業所 運営課包装技術係

吉村 公樹 氏

テーマ⑤：「中国生産品の日本輸送に対するシートパレット導入について」

発表者：TOTO(株) ウォシュレット開発第三部 包装・印刷物G

廣松 隆明 氏

テーマ⑥：「トイレ内の化粧壁(前面板)包装仕様共通化による改善」

発表者：TOTO(株) トイレ空間商品開発部 トイレ空間包装印刷物G

中嶋 和也 氏

<交流事業> (公益目的事業 1)

見学会 (IPP 支部合同・福岡倉庫協会と共催)

参加者 21名

1月24日(金)

見学先①(株)山口油屋福太郎 (辛子明太子 めんべい)

②アサヒビール(株)博多工場 工場見学 交流会

第2. 諸会議

支部運営委員会社を個別訪問の上、打合せ

第3. 行事・その他の活動

第54期包装管理士合格証書授与式

11月1日(金) 西鉄イン福岡ホテル

参加者 36名